

令和3年3月31日

各 位

さざなみ学園園長 近藤一也

さざなみ学園保護者会会長 山際寿栄

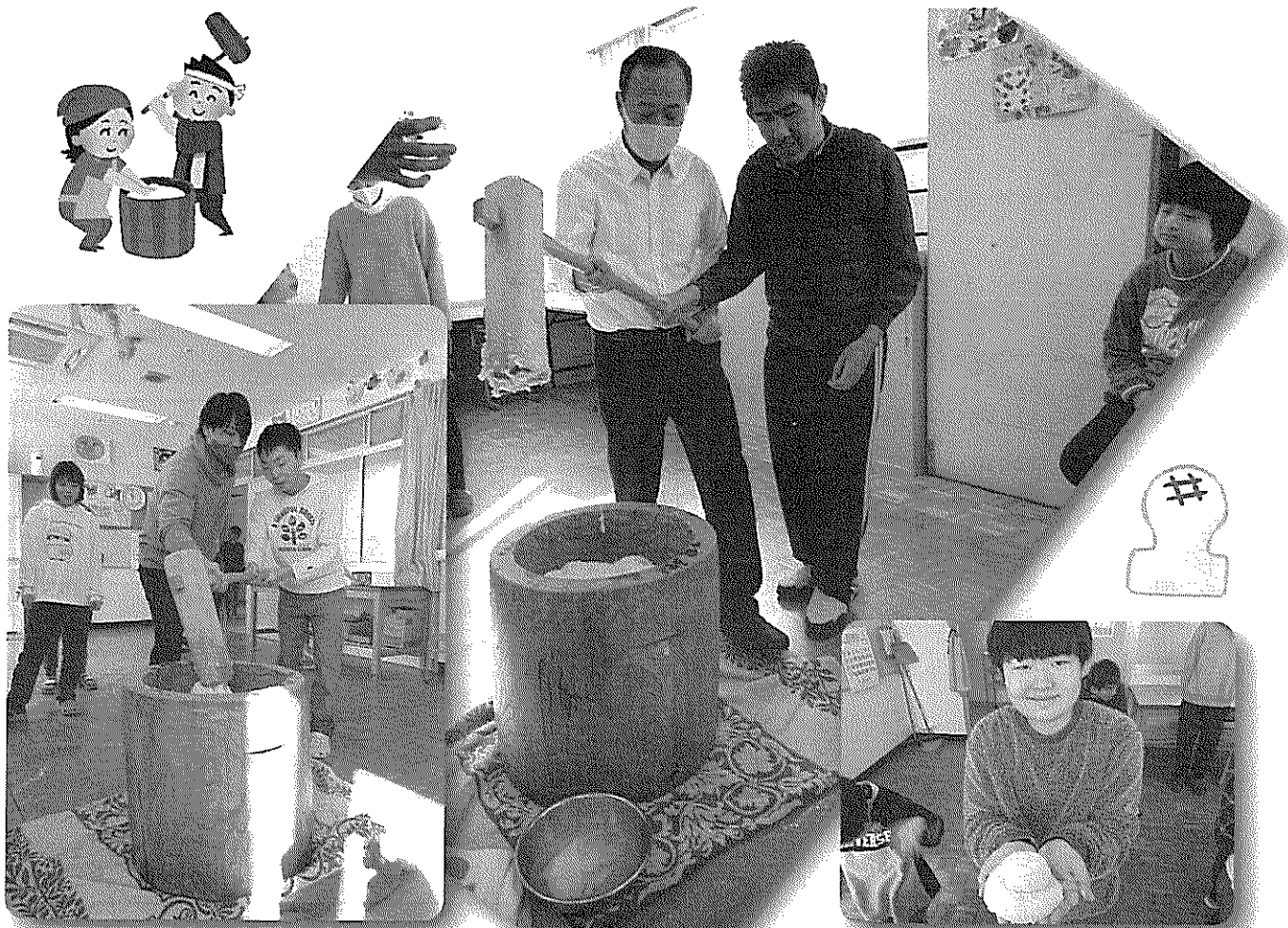
広報『さざなみ』の送付について

日頃、皆様にはさざなみ学園への御支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。
このたび、広報『さざなみ123号』を発行いたしましたのでお届けいたします。御意見、ご感想をお聞かせ願えれば幸いです。

回覧



さがなみ



良い年になりますように



令和二年度保護者会会長挨拶

時と共に

令和二年度保護者会会長 山際 寿栄

昨年コロナ感染症により、すべての行事が中止になり、保護者、子供、職員の方達との交流ができず、一年間が過ぎてしまいました。

たえず、気持ちの不安の中、施設でのコロナ感染予防対策についての対応を聞かせて頂く機会がありました。私は、一生懸命取り組んで頂いている話を聞いて、改めて緩みがちな気持ちを、しっかりひきしめていかなければいけないと思えました。

そして、人とのコミュニケーションが難しくなってきた今、リモートワークなど、ネットのやりとりや、カード生活での環境になってきました。何事もアイデアを出し協力し合わなければいけないと感じます。

この先まだ、おさまる事がない中、気をひきしめて皆さん乗りきっていきましょう。一年間よろしくお願ひ致します。



令和2年度 さざなみ学園保護者会役員

総務部(会長)	山際 寿栄
総務部(副会長)	中西 正晴 柴野 瑞恵
広報部 部長	坂田 清美
広報部 副部長	北村 由美子
研修部 部長	鈴木 厚子
研修部 副部長	本間 節子
会計監査	伊部 博子 土田 奈美子
事務局	園長・課長 小林・横山

職員動向

浅野 俊博 職員

令和二年四月一日より勤務されています。

庭野 和歌子 保育士

令和二年四月一日をもって松風の里へ異動となりました。

樋口 真希 児童指導員

令和二年七月三十一日をもって退職致しました。

新入所児童紹介

M・Rさん(小学部一年生 男児)
車とピカチュウが大好きな元気いっぱいの男子です。
よろしくお願ひします。

Y・Aさん(小学部一年生 男児)
花火とお絵描きが大好きです。あいさつがとても上手です。
よろしくお願ひします。

M・Sさん(中学部二年生 女児)
運動神経抜群！音楽を聴くのが好きな女の子です。

卒業おめでとう

中学部卒業

石森 茜さん

中学の三年間は本当にあつという間だったね。嵐が好きだったのになにの間にかK-POPにハマって振り付けも覚えたね。リモコンやスマホ等、出来ることがたくさん増えた三年間でした。身も心も大きく成長。縦も横も親を越したけど、つちやい時と変わらずハグを求めてきて、ギューってされるととても癒されています。職員さんと呼ばたいように呼んでたのに、名前にさんを付けて呼ぶようになって成長を感じると共に、もうつちやい子供ではなく、社会の中で生きて行く準備に入っているんだと思うと寂しさも感じています。四月からはJKですね。たくさんイケメンを見て青春を楽しんでね。卒業おめでとう。

高等部卒業

内山 大雅さん

大雅さん、卒業・卒園おめでとうございます。八年間をさまざまな学園で過ごした大雅さんは、本当にまわりの誰からも好かれる存在でした。特に最後の数年間は素敵な笑顔、元気なあいさつ、ユニークな表情でのコミュニケーション、パワフルな歌や踊り等、はつらつとした姿がたくさんみられ、まわりを和ませてくれました。そんな大雅さんのことがみんな大好きでした。きつとこれからどこにいても愛される存在であると思うので、笑顔で送り出したいと思います。

大雅さんから目には見えない様々な大切なものももらいました。私は担当として何もしてあげられませんでした。私は担当として何もしてあげられなかったことを嬉しく思います。

大雅さん、お元気で。本当にありがとう。

中村 里美

高等部卒業

野中 あやめさん

あやめさん、御卒業おめでとうございます。あやめさんと出会ってから、九年が経とうとしています。大きな目をクリクリさせて、緊張した様子の姿を今でも思い出します。

学園で、楽しかったことを聞くと、バスハイクで長岡に買物に行ったことや、クリスマスでプレゼントをもらったことだと教えてくれました。学校での行事も楽しかったようです。辛かったことや、悲しかったことは、ずっと一緒にいた、○○さんとの離れたことだと言っていました。ずっと、姉妹のように過ごしてきた人との別れでした。これからの人生、いろいろなことがあると思います。

いろいろな出会いや、いろいろな経験をして楽しい思い出をたくさん作って、幸福になつて下さいね。あなたの笑顔に、感謝です。ありがとう。

元井紀世美

コロナ感染症特集

コロナ禍でも「できる」こと

統括主任児童指導員 小林 拓也

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で、多くの行事などが中止・縮小となりました。そうした中、少しでも楽しみを持つていただけよう「できること」「できないこと」を精査し、内容を変更したり、別のイベントに振り替えたりしました。いつもとは違う内容でしたが、ご利用者の方々の笑顔をたくさん見ることができました。

日常の生活でも変化がありました。食事の席は向かい合わせをやめ、パーティションを設置しました。また、外食ができないため、気分だけでも味わっていたできるようにテイクアウトを利用し、好きなものを選んで食べる機会を作りました。ご利用者にも好評でした。

最もご不便をおかけしたことは、帰宅の制限だったと思います。一番の楽しみである帰宅ができなかった時は、辛かったことと思います。

まだコロナ禍が過ぎ去るには時間がかかりますが、少しでも楽しみが持てるようにご利用者の方々に寄り添っていきたいと思っています。

コロナ禍

伊部 博子

コロナの感染拡大から一年が過ぎました。PC

R検査や入院、隔離して自宅療養も難しく、施設内クラスターが発生したら大変です。感染しないように予防するしかありません。

「コロナという病気が流行っています。出かける時はマスク、帰ったら手洗いします。」と息子に伝えると、何だか大変なんだと察したのか、出かける時は自分からマスクをつけています。

四月に柏崎で初めて感染者が発生し、学園からの予告通り帰宅禁止になりました。週末帰れなくてパニックになっていたのでないかという心配と淋しさの二週間でした。初めての事で職員の方は本当に大変だったと思います。帰宅解除後の迎える時「長期間お世話になってすみません。」と職員の方の言う「大丈夫ですよ。本人、とても頑張っていましたよ。」と笑顔で返してくれました。通常業務と消毒などの感染対策で大変な中、普段と違う生活に不安定になる子たちに、いつも寄り添った支援をしていたいただきありがとうございます。

コロナで一変してしまつた日常に、息子なりにルーティンを変えながら対応しようとしています。何の心配もなく、いつでも、誰でも会える平穏な日々が早く訪れることを心より願います。

高松 麻美

みなさま、初めまして。高松柚季の母です。コロナウイルスでまず外出、外食など減り、本人もかなりストレスがある様子です。自宅にいる時はユーチューブやゲームばかりになってしまっています。なかなか難しい世の中ですが手洗いや消毒などを頑張って、感染予防だけはしっかりしているつもりです。みなさんも大変だと思いますが、がんばって乗り切りましょう。

